

# <作成例>

「施工性の向上」部門

部門	施工性の向上	
----	--------	--

～仮設の工夫で工程を短縮～

〇〇工事 その〇〇

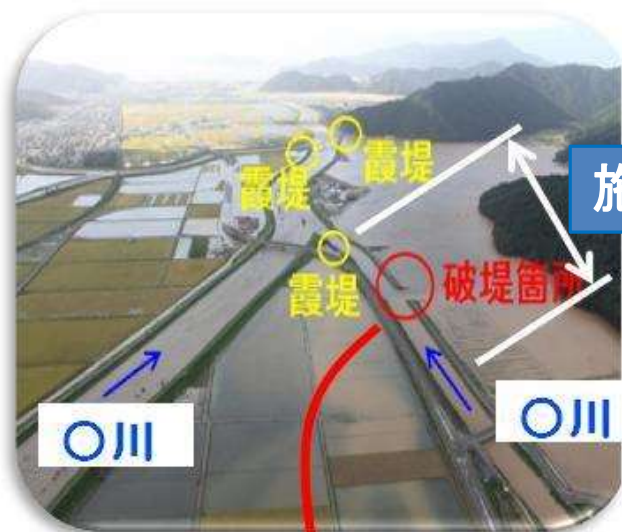
一級河川〇〇川

〇〇町

〇〇係

# 工事概要

〇〇年〇月〇日の台風〇号により、越水した区間(破堤区間  $m$ を含む)の右岸  $m$ の堤防嵩上げおよび護岸工の新設を行う

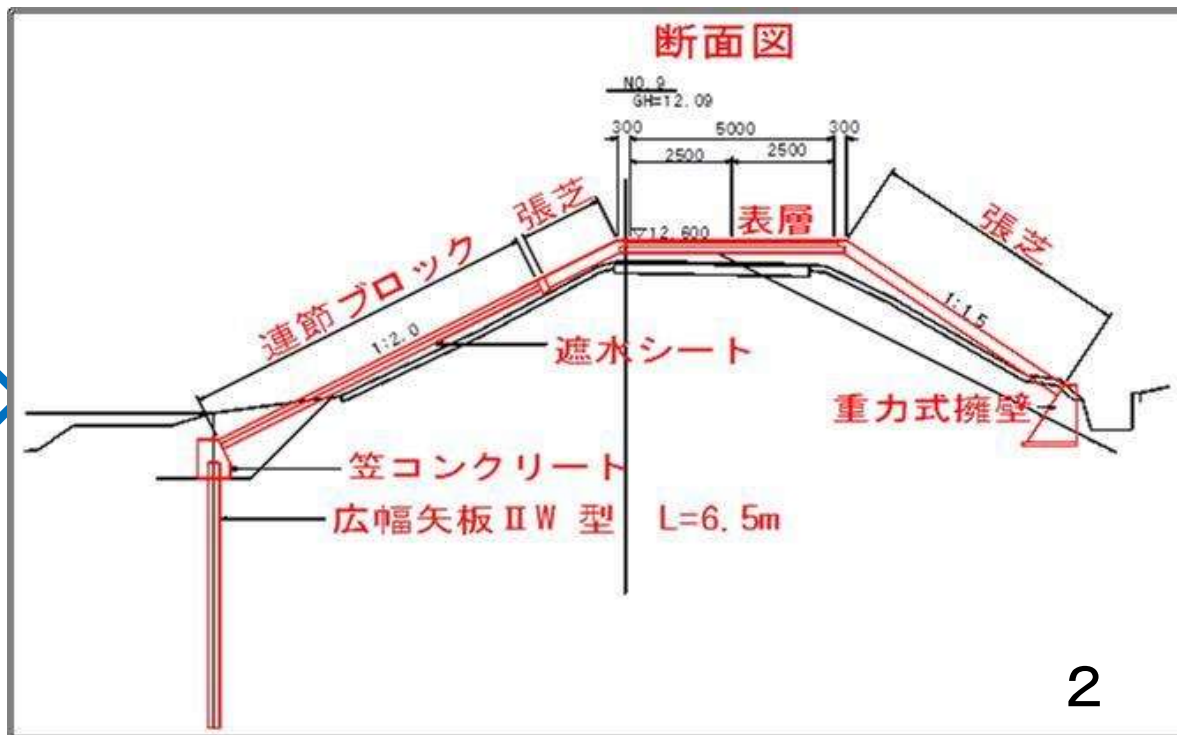


施工箇所



復旧断面図

復旧延長:  $m$   
 築堤工:  $m^3$   
 連節ブロック張:  $m$   
 矢板工: 枚



**着工前**



**完成**



# 施工性 向上

## ポイント

- 災害復旧工事で早期復旧が必要
- 進入路は一本しかない

③ 堤防幅が5mと狭く、車両のすれ違いが困難

② 擁壁の施工で堤防を掘削することから、安全性確保が必要

① 河床が軟弱でバックホウがそのまま進入できない

横断図 0.6km<sup>2</sup>

川幅 約32m

▽H.H.W.L. 11.700

▽H.W.L. 10.269

堤防幅5.0m

# 工夫 ① バックホウマットの使用



河川内は、地盤が悪く重機が入りにくいため、丸太を編み足場に使用することで、通常工程を6日間短縮



# 工夫 ② 鉄板・大型土のうによる法面足元の強化

道路側擁壁施工時、鉄板・大型土のうで法面足元を保護して堤防の安全性を高め、河川側の同時作業を可能に



シート養生

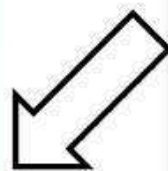
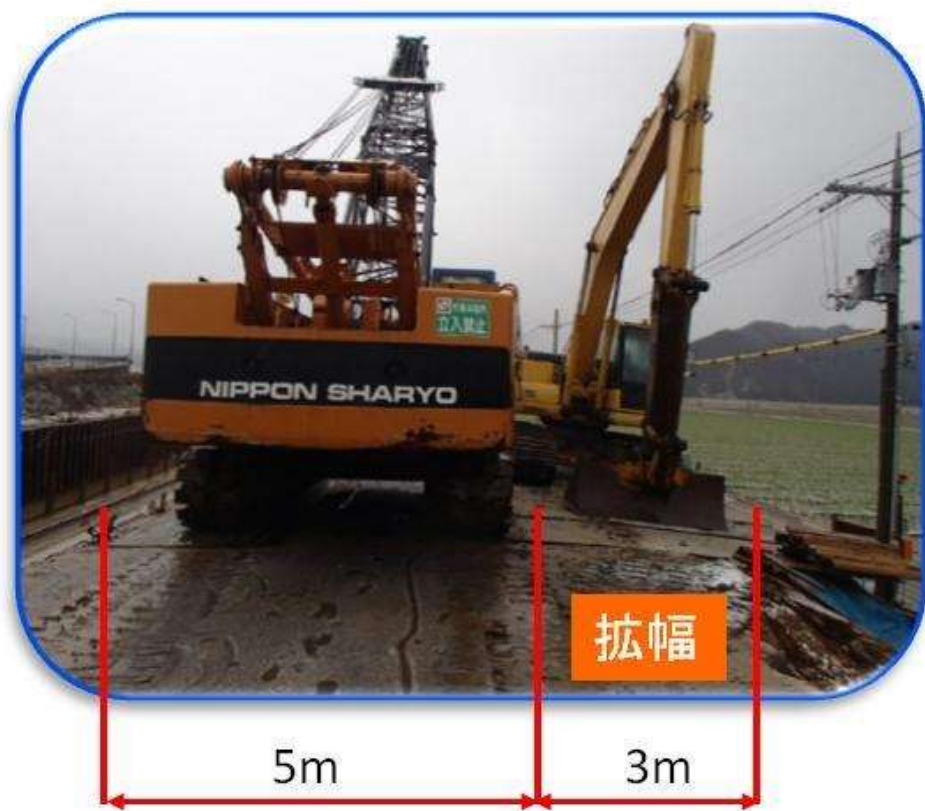
鉄板養生



大型土のうで補強

# 工夫 ③ 退避所の設置

重機のすれ違いができるように**退避所**を設置することにより、土工事や連節ブロック、矢板抜き**の同時施工**を可能に





スライド枚数 7枚

561KB